

令和7年度 最北地区高等学校PTA連合会研究集会
さらにとんがった新東を目指して
～家庭・学校・地域で創るみつばちフォーラム総まとめ～

新庄東高等学校 PTA副会長 黒澤 真一



1. はじめに

最北地区唯一の私立高校として創立60年を迎えた。「自らの手で人生を開拓しよう」を校訓に、地域に貢献できる人材の育成に力を注いでいる。平成21年にEASTコースを設置し、それぞれの特色を生かした教育活動を実践しながら、学力、社会人基礎力、自己肯定感がある人間を目指す。各コースで培った力を発揮しながら社会の多方面で活躍している。

校訓 「自らの手で人生を開拓しよう」
それは努力によって そして方法を考えて 全て敬虔な態度で

本校が目指すもの

教育目標 「リーダーシップをもつ人材の育成」

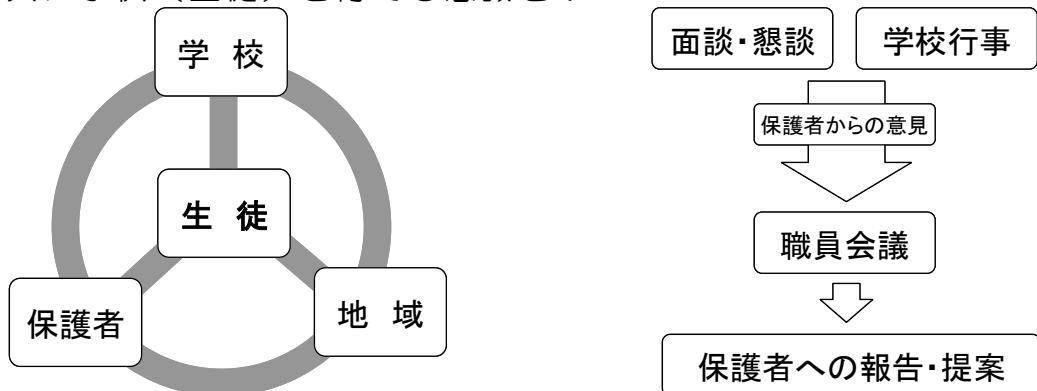
1. 物事の本質を見極める目を養う（観察力）
2. 状況を考え的確に判断できる力を養う（判断力）
3. 自らの考えを正確に表現する力を養う（表現力）
4. 自分だけではなく周囲に心配りができる（チームワーク力）

R7年度 在籍生徒数 501名（1年：172、2年：160、3年：169）
(男子：297、女子：204)

2. P T A 組織と活動

新庄東高等学校 P T A 基本方針

- ・あらゆる機会を通じて報告・連絡・相談し共に子供を育てるために
共に子供（生徒）を育てる意識を！



- ① P T A 総会 ② 地域懇談会 ③ みつばちフォーラム
 ④ 学年・クラス懇談 ⑤ 三者面談 ⑥ 家庭訪問

令和6年度 P T A 役員 会長1名 副会長4名（校長除く） 監事1名
 評議員36名（各クラス2名×16クラスから選出） 計42名
 教員5名（庶務課）

専門部 42名が下記のいずれかを担当する

教養部…みつばちフォーラムの準備・運営

研修部…文化祭でのバザー準備・運営、市内巡回指導への参加

文化部…P T A 新聞発行（年4回）の準備・作成

P T A 年間活動計画 (R6)

4月	三役会、会計監査、評議員会① 文化部：P T A 新聞発行① P T A 総会（オンライン）、学年・学級懇談
5月	評議員会②
6月	地域懇談会 研修部会：文化祭でのバザー準備・開催
7月	文化部：P T A 新聞発行②
8月	
9月	三役・教養部会① フォーラム打合せ
10月	三役・教養部会② フォーラム打合せ・準備
11月	三役・教養部会③ フォーラム打合せ・準備 みつばちフォーラム開催・運営
12月	文化部：P T A 新聞発行③
1月	
2月	
3月	文化部：P T A 新聞発行④

上記以外の懇談や打合せ等、必要に応じて実施。地域懇談会や文化祭でのバザー、地域の巡回指導への協力などで積極的に関わりを持っている。P T A活動の特徴としてはみつばちフォーラムが中心となっている。

3. みつばちフォーラムについて

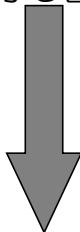
- ・スタート 平成12年（1999年）第1回

目的…「生徒・保護者・教職員・市民（一般）が語り合い議論を深め
学校づくりにいかす」

「生徒のコミュニケーション能力、表現力を育てる」

講演会・分科会の2本柱で実施

4つの分科会を設定し、テーマは地区PTA懇談会（出身中学校をベースに
地区割…現在は地域懇談会）で話題になったことをテーマとし、生徒・保護者
それぞれの視点からの問題提起を行い、生徒・保護者はもちろん教員・地域の
方も含めた参加者で意見交換を行う形式であった。



第10回を過ぎたころからマンネリ化など改善点が見えてきた。

分科会テーマ：モラル・マナー、新東の良いところ・悪いところ

責任・無責任とは、身だしなみと常識、魅力ある学校とは
携帯電話の使い方、食生活を考える など

- ・リニューアル 平成28年（2017）第17回

目的…「本校・生徒の活動の公開PR・検証・研修の場」を追加

分科会のテーマは本校生徒が日頃行っている活動を中心に設定することにした。テーマ設定については4観点【授業、課外活動、その他、自分以外（周囲）】のアンケートを行い、それぞれ頑張っていることについて回答し集約。

教員から活動の中心になっている生徒に声をかけ、リーダー生徒を選出。リーダー生徒が主要メンバーを集め、分科会の企画書を作成。教員が主要メンバー外の生徒に分科会希望調査を行い、1分科会あたり生徒20名を目安に調整

※R2・3年度はコロナ渦のため講演会は開催せず、分科会のみの実施。

生徒は全員参加。

以前は分科会を立ち上げる際、中心生徒に声をかけ同意を得る過程で断わる生徒もいたが、近年はほとんどが快く引き受けてくれ、スムーズに数多くの分科会が立ち上がる。また、教員や保護者のサポートもあまり必要とせず、各分科会リーダーを中心に計画・準備が進むようになってきている。当日もリーダーが中心となって分科会を進行し、記録・発表を分担している。

2024.11.16



令和6年度は吉本興業より山形県住みます芸人ソラシド、本坊元児氏を講師に迎え「お笑いと農業～未来を切り開くための生き方～」をテーマに講演会を開催した。芸人の枠を超えて多方面で活躍する本坊氏、そのチャレンジし続ける姿とリアルな声を聞くことは生徒にとって貴重な機会となった。



4. おわりに

みつばちフォーラムの分科会テーマは毎年多方面にわたり、令和6年度は外部団体・企業の方々とともに考え、構想する分科会もあった。生徒が様々な事に挑戦している姿をフォーラムを通して知ることができ、リーダー生徒を中心に主体的に活動している様子を見ることができる貴重な機会となっている。以前には、生徒たちから保護者にPRする時間が欲しいとの要望があり、自分たちが協力している献血への呼びかけなどをする場面もあった。分科会での意見交換が新たな視点となって活動に広がりを見せたり、保護者・関係者から背中を押してもらうことで、さらに発展した活動となっていた。

5. 参考資料【R6みつばちフォーラム分科会】

1. みつばちサッカースクールの子ども達と、
ものづくりに挑戦
2. 地域貢献について考える
3. 進学編～総合型・推薦型選抜に向けて～
4. 公務員・就職試験の心構え
5. 異文化交流～留学生から学ぶ～
6. 図書委員会～図書カードでしおりを作ろう～
7. 地域と世界をつなぐTコース
8. 運動部連合～頂点を目指して～
9. 文化部連合～互いの活動を知る～
10. 生徒会行事を考えよう
11. ボランティアについて語ろう
12. フォーラム特別版 プrezent授業
13. 開発途上国を知る～東ティモール～
14. Australia×Japan
15. 台湾探求
16. 高校生と共に活動できるということ



17. みんなで考えよう！新庄もがみの“ランドマーク”

18. 地元企業と考える課題解決

・みつばちフォーラム参加者の推移

	1回	5回	10回	15回	20回	21回	22回	25回
年	1999	2004	2009	2014	2019	2020	2021	2024
保護者・家族	45	38	28	28	49	44	77	60
生徒	50	99	91	100	231	312	331	395
市民（関係者）	2	8	5	10	87	19	37	18
教職員	30	31	16	27	45	43	44	27
計	127	176	140	165	412	418	489	500
備考	講演 分科会	講演 分科会	講演 分科会	講演 分科会	講演 分科会	分科会 のみ	分科会 のみ	講演 分科会

6分科会 図書委員会 「図書委員会～図書カードでしおりを作ろう～」

参加者：生徒20名・保護者3名・教員2名
貸出方法変更により余った図書カードに手を加え、しおりを作成しました。



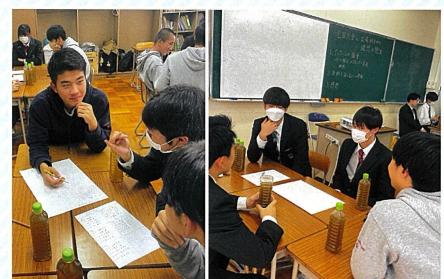
7分科会 Tコース 「地域と世界をつなぐTコース」

参加者：生徒80名・保護者25名・一般関係者3名・教員6名
今年度の体験活動・コース行事の成果発表を行いました。



8分科会 運動部連合 「運動部連合～頂点を目指して～」

参加者：生徒27名・教員1名
今夏、インターハイに出場した4つの部活動が活動報告を行い、「インターハイに行くためには」というテーマで各班話し合いました。



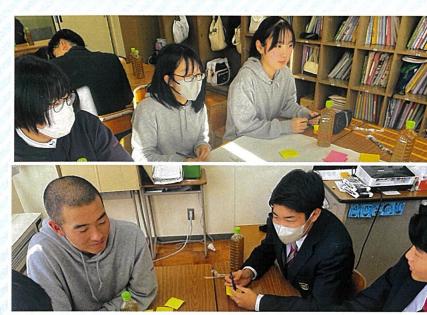
9分科会 文化部連合 「文化部連合～互いの活動を知る～」

参加者：生徒27名・保護者3名・教員1名
それぞれの文化部に触れ、魅力を発信・体験しました。



10分科会 生徒会 「生徒会行事を考えよう」

参加者：生徒30名・保護者1名・教員1名
今後の生徒会行事について、より良い行事にするべく各班話し合い意見交換を行いました。



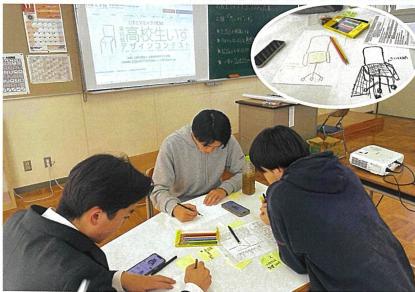
11分科会 ボランティア 「ボランティアについて語ろう」

参加者：生徒21名・保護者4名・一般関係者1名・教員1名
ボランティアを行っている生徒たちが中心となり、発表や情報共有を行いました。



 12分
分科会
プレゼン
「フォーラム特別版 プrezen授業」

参加者：生徒8名・教員1名
「思いやる“いす”」をテーマに班内で話し合い、デザインを完成させました。



 13分
分科会
国際理解
「開発途上国を知る～東ティモール～」

参加者：生徒16名・保護者1名・教員1名
JICA海外協力隊の方とオンラインでつなぎ、途上国の現状を学び支援を考えました。



 14分
分科会
国際交流
「Australia X Japan」

参加者：生徒20名・保護者7名・教員1名
オーストラリア研修の報告とオンラインでオーストラリア生徒とトークセッションをしました。



 16分
分科会
SP企画① 地域づくり
「高校生と共に活動できるということ」

参加者：生徒10名・一般関係者3名・教員1名
新庄青年会議所（新庄JC）さんと考えました。



 17分
分科会
SP企画② ランドマーク構想
「みんなで考えよう！新庄もがみの“ランドマーク”とは？」

参加者：生徒8名・一般関係者2名・教員1名
新庄商工会議所青年部（新庄YEG）さんと考えました。



 18分
分科会
SP企画③ 地元企業と考える
「地元企業と考える課題解決」

参加者：生徒11名・保護者7名・教員1名
「マッシュルーム県になるために必要なこと」「季節問わず食べてもらるために必要なコト」2つのテーマについて話し合いました。

